

令和7年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書（5～12月分）

事業名	宿題カフェ
事業者名	一般社団法人ふたば
<p>事業の実績 （日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など）</p>	<p>日時： 毎週土曜日（第1週目を除く）午後1時～3時まで 場所： いわて生協ベルフ松園 集会室・組合員ルーム 参加者： 盛岡市内の小学4年生から高校3年生まで みちのく・みどり学園の希望する中学生 サポーター： 社会人サポーター・大学生サポーター 内容： 参加者が宿題などを持参、大学生サポーターが勉強のサポートをする また、学校生活や進学などに関する相談に応じる レクの時間には学校や学年の異なる参加者同士の親睦を図る</p> <p>【 事業実績のまとめ 】（2025年5月～12月末）</p> <p>本年度の宿題カフェには17名の児童が登録し、延べ82名が参加しました。1回あたりの平均参加者は3.4名で、少人数のため、学習状況や悩みに丁寧に関わり添う支援が可能となりました。登録のみで参加に至らなかった児童もいましたが、一方でほとんど休まず継続して通ってくれた児童もおり、継続参加率の高さが本事業の信頼性を示していると考えます。</p> <p>活動には、社会人26名・学生71名、計97名のサポーターが延べ参加し、1回あたり平均4名の大人・若者が子どもたちを支える体制を整えることができました。多様な地域人材が関わることで、学習支援にとどまらず、子どもたちの不安や悩みに耳を傾け、安心して過ごせる居場所づくりにもつながりました。</p> <p>5月から12月までに24回（計48時間）の学習機会を提供し、保護者からは「家庭だけでは支えきれない部分を補ってもらえて助かる」「子どもが安心して通える場があることが心強い」といった声が寄せられています。地域の大人と学生が協力し、子どもたちの成長を支える場として着実に根付いてきたことが、本年度の大きな成果です。</p>
<p>事業の評価 （アンケートなどの結果、良かった点、課題など）</p>	<p>松園地区でSSWをされている方から、再三にわたり「学校に行っていない子どもがいるが、家から出るきっかけとなるよう宿題カフェに参加させたい」との相談があり、実際2名が見学にいらっしやいました。参加には至らなかったが、だれでも参加できる学習の場所の必要性を感じました。</p>
<p>その他 （特記事項等）</p>	<p>今年度も、みちのく・みどり学園内の中学生への学習サポートも実施。大学生サポーターと、学校に行っていない間の英語や数学の補習を行ったり、調理実習でクッキーを作ったりしました。</p> <p>フードパントリーを7月と12月に実施。長期休みの前に、寄付でいただいた食品を希望するご家庭に配布しました。</p>



毎月末のカフェメニュー調理体験の様子



フードパントリー準備の様子